

北海道立北方民族博物館令和7年度ロビー展

北に魅せられた人2

き む ら し ょ う じ
画家 木村 捷 司

令和7年(2025年)

5月31日(土)～6月22日(日)

月曜休館 開館時間 9:30-16:30

会場／北海道立北方民族博物館ロビー 観覧無料



「オタスの杜(オロッコ村)」昭和13年(1938年)
木村捷司記念室所蔵 ・オロッコはウイルタの旧称

❖ 関連事業 ❖

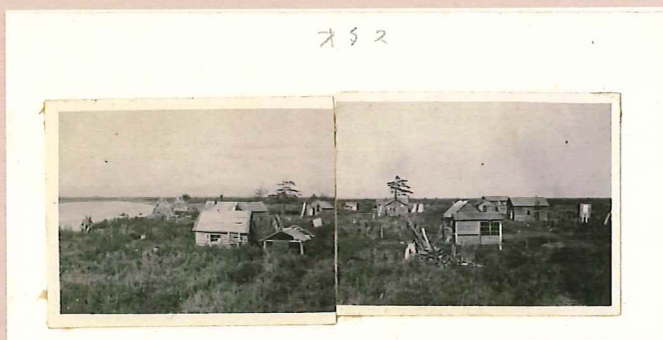
講座「画家木村捷司の足跡」

日時：令和7年6月8日(日) 10:00-11:00

参加：無料

定員：一般20名(要申込)

講師：笹倉いる美(当館学芸主幹)



撮影／木村捷司

主催 北海道立北方民族博物館 木村捷司記念室
(指定管理者：一般財団法人北方文化振興協会)

施設設置者 北海道教育委員会

(連絡先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課
電話 011-231-4111)



北海道立北方民族博物館
Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093-0042 北海道網走市字潮見 309-1

電話 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889

e-mail tonakai@hoppohm.org

「北に魅せられた人」は、北方諸民族や地域に関わった人々の業績を通じて、北方の文化等を紹介するシリーズです。

第2回目は北海道を代表する画家・木村捷司(きむらしょうじ/1905～1991)に焦点をあてます。

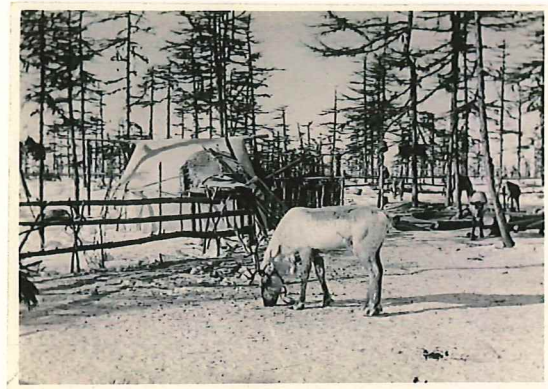
木村は奈良やモロッコ、チュニジア等国内外を広く取材して多彩な作品を生み出した画家であり、肖像画の分野においても数多くの作品を残しています。

特に注目すべきは、戦前期の樺太(サハリン)において先住民の暮らしや風景を丹念に描き留めた活動です。絵画作品としてだけでなく、当時の様子の記録としての価値を見出せます。木村は、写真撮影や民具の収集にも尽力し、これらの一部は北方民族博物館に収蔵されています。

本展では木村の活動の一端と、かつての樺太の姿を紹介します。



「上敷香イワンペトロウィッチのパラトカにて(ワルワラ婆)」
昭和18年(1943年) イワンペトロウィッチ夫妻はサハ(ヤクート)



トナカイの後ろにみえるテントが「パラトカ」
撮影/木村捷司 木村捷司記念室所蔵



「コルサコフの夏」昭和14年(1939年)
木村捷司記念室所蔵



トナカイ皮の刺繍
木村捷司記念室所蔵



木村捷司記念室
北海道七飯町鳴川1-2
電話 0138-65-2324

- | | | |
|------|----------|----------------------------------|
| 1905 | (明治38) 年 | 函館に生まれる |
| 1909 | (明治42) 年 | 4歳 樺太に移る |
| 1917 | (大正6) 年 | 12歳 樺太庁大泊中学校入学 |
| 1923 | (大正12) 年 | 18歳 北海道大学予科医類に入学 (1925年退学) |
| 1927 | (昭和2) 年 | 22歳 東京美術学校(現東京藝術大学)西洋画科入学 |
| 1931 | (昭和6) 年 | 26歳 卒業、函館実践高女で教務に就く |
| 1938 | (昭和13) 年 | 33歳 樺太への取材旅行を始める |
| 1939 | (昭和14) 年 | 34歳 第一美術協会で無鑑査推薦され会員 |
| 1953 | (昭和28) 年 | 48歳 函館商科短期大学教授 |
| 1971 | (昭和46) 年 | 66歳 北海道開拓記念館大壁画<開拓>制作 |
| 1984 | (昭和59) 年 | 79歳 画集出版 |
| 1991 | (平成3) 年 | 86歳 7月16日帰天、
当別トラピスト修道院の丘にねむる |

参考/木村捷司展図録(北海道立函館美術館)、木村捷司カレンダー

 **北海道立北方民族博物館**
Hokkaido Museum of Northern Peoples
〒093-0042 北海道網走市字潮見 309-1
電話 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889
e-mail tonakai@hoppohm.org